

熊本赤十字病院における制吐薬の基本的な使用方針

催吐リスク	使用薬剤	急性嘔吐 外来化学療法室で使用	遅発性嘔吐		
		Day1	Day2	Day3	Day4
高度	アプレピタント パロノセトロン DEX	125mg(po) 0.75mg(div) 9.9mg(div)	80mg(po) 8mg(po)	80mg(po) 8mg(po)	 8mg(po)
	Grade2以上の症状継続時は、オランザピン 5mg1日1回4~6日間追加する場合あり ※ただし、DM(高血糖)患者には使用しない。また、D2受容体拮抗薬は併用しない。				
中等度 (オプション)	アプレピタント グラニセトロン (or パロノセトロン) DEX	125mg(po) 3mg(div) (0.75mg(div)) 3.3~4.95mg(div)	80mg(po) [4mg(po)]	80mg(po) [4mg(po)]	 [4mg(po)]
	カルボプラチン併用時や遅発性嘔吐の症例では、パロノセトロンを使用する場合が多い。 パロノセトロン使用時は、Day2以降のDEX([]部分)を省略する場合あり。				
中等度	グラニセトロン DEX	3mg(div) 6.6~9.9mg(div)	 8mg(po)	 8mg(po)	 8mg(po)
	Day2以降のDEX省略時は、代わりにグラニセトロン 2mg(po)が処方される場合あり。				
軽度	DEX	3.3~6.6mg(div)	基本的に処方なし。 状況に応じてメクロプラミドの頓用処方あり。		
最小度	一般的に不要	基本的に処方なし。			

DEX: デキサメタゾン